

若楠かわら版

社会福祉法人 若楠
療育医療センター 若楠療育園
若楠児童発達支援センター



〒841-0005

佐賀県鳥栖市弥生が丘 2 丁目 134 番地 1

Tel 0942-83-1121

Fax 0942-83-1755

教えて！ 貴方の熱中症対策！

地域支援課 山崎真由美



塩飴を食べています！
おすすめは塩カン口飴です◎
その他、車内がすぐ冷えないので
クールネックリングをしています。
休日は子供たちとお庭でプールが定番！
しっかり日焼け対策をして挑んでいます！

児童発達支援センター 野見山泰誓



猛暑に負けないために、
ハンディーファンを購入しました。
毎日いつでも涼しい風を浴び放題で
暑さなんてへっちゃらです！

第1生活棟 寺崎麻子



昼休憩の間に
梅味の塩飴をなめています。
とてもおいしいし、
午後からの仕事がんばる！
エイエイオ～！となります(^^)

リハビリテーション課 田中将暉



- ①たくさん寝ること
- ②適度な運動
- ③夏を感じる遊びをすること！
水分・ミネラル
そして…推し補給！！

総合相談室 徳永涼子



私の熱中症対策は
甘酒と豆乳を混ぜた「甘酒豆乳」を
毎朝飲むことです。すっきりした
甘さでとっても美味しいです。

第2生活棟 立石治



私の暑さ対策は
①きゅうりなどの夏野菜を食べる
②ディズニーの夏のイベント動画を見
て暑さを吹き飛ばしています。

第1生活棟 古賀文香



猛暑の夏、エガちゃんねるが元気の源。
江頭 2:50 の全力の叫びと笑いに、気付けば
暑さを忘れて夢中になる。笑ってスカッとして
「明日も頑張ろう！」と思わせてくれる。
冷たいアイスコーヒーとエガちゃんねる。
これが私の最高の暑さ対策。



入所支援部

保護者の会 車椅子清掃

8月3日(日)の午前中、60名を超えるご家族の皆様へ、入園者の車椅子清掃を行っていただきました。

日頃は定期的に青葉園の利用者が車椅子清掃をしてくださっていますが、それでも日々の生活でどうしても汚れてしまいます。カバーも外されタイヤホイールや隅々の細かいところまで、ピカピカに仕上げていただきました。

暑さが厳しい中での活動、皆様本当にお疲れ様でした。

さて、ここでご紹介をいたします。今年度、保護者の会より立派なコンプレッサーとブロアをご寄付いただきました。

大切に使用させていただきます。 本当にありがとうございました。



今年のテーマは“五感で感じる”夏の体験を一緒に楽しもう!”

和太鼓の軽快な響きが会場を盛り上げ、「お化け屋敷」でひんやり体験。「ゲームコーナー」ではボールを転がし、満面の笑みで喜んだり悔しがったり。また「特設フォトコーナー」では手作り屋台、ねじり鉢巻きお店屋さんで「ハイポーズ!」さてさてお待ちかねの「かき氷屋さん」。食べる前に削りたての氷を手で触ってみたいしました。新鮮な体験が盛りだくさんの夏祭り。皆さんの良い思い出になったのでは?

入園者と職員が一緒に楽しむ姿がとても印象的でした。



生活介護事業

今年も恒例の夏祭りを開催しました。

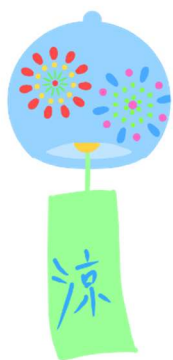
会場となる地域支援課ホールには、「金魚すくい」「射的」「ヨーヨー釣り」などの出店が並び、目移りしながら会場を回って楽しむ利用者さんの姿が見られました。

また、「くじ引き大会」も大盛り上がり。皆さん笑顔で満足そうに景品のお菓子を手にしていました。



壁面制作

地域支援課ホールには、制作した季節を感じられる壁面が。利用者の皆さんとスタッフが協力しながら定期的に変更されています。機会があればぜひご覧ください。



若楠児童発達支援センター

児童発達支援

寒天遊びをしました。
触覚の活用、手先や道具の操作、色の学習等をねらいに行いました。また、寒天遊びは様々な感覚・感触を表すことばを学ぶきっかけにもなります。

寒天の感覚が苦手な児童には、ヘラや袋などの道具を用意し、間接的に触れられるようにしました。

握ったり、つまんだり、型をとったりと、寒天特有の弾力や冷たさを楽しみました。



(重心クラス)児童発達支援・放課後等デイサービス

大きいクラゲ



選び、取りたい



クジラに触りたい



水族館作りを行いました。
好みの素材を選ぶ、様々な道具に触れる、操作することが目的です。素材に触った時の反応の違いをみたり、道具を操作しやすい姿勢の検討を行いました。

最後は、色とりどり、大小様々な生き物が完成しました。

放課後等デイサービス

看板作り



魚つりの魚作り



あそびが1つ
おわるごとに
スタンプを押し、
おわりを
明確にしました

輪投げの輪っか手作り



8月は、夏祭りの開催に向けて日々の活動の中で制作をおこない、協力しながら準備を進めました。

自分たちで作ったものであそび喜びや、達成感を感じながら、活動を楽しむことができました。

若楠児童発達支援センターでは、 次のような事業をおこなっています。

通所

◦児童発達支援事業

フレームワークを活用し、より主体的・自発的に生活できるよう支援をおこなっています。
また、関係機関(保育園・幼稚園・他事業所・重心医療など)との連携もおこなっています。

◦放課後等デイサービス事業

活動を通して集団生活への適応を高め、自立や社会生活の充実を目指しています。
年に2回程度、職員が学校へ授業の見学に伺い、情報共有・相談対応をおこなっています。

地域

◦保育所等訪問支援事業

◦佐賀県児童発達支援センター機能強化事業

- ・発達相談(予約制)、親子教室、チャレンジ教室(療育指導教室)
- ・訪問相談
- ・研修会、学習会



センターで働いている職員



保育士(常勤7名)
社会福祉士(常勤1名)
児童指導員(常勤1名)
言語聴覚士(常勤1名、非常勤1名)
作業療法士(常勤1名)
理学療法士(常勤1名)
臨床心理士(常勤1名)
公認心理士(常勤1名)
看護師(常勤1名)
強度行動障害支援者養成研修修了者3名

今回は、OT・ST・PTの
役割を紹介します



作業療法士 (OT)

日常生活動作の向上や認知・理解の向上、
友だちとの関わりや集団でのやり取りあそび
といった様々な活動に焦点をあてて支援を
おこないます



言語聴覚士 (ST)

コミュニケーション能力の発達支援(理解でき
ることばや言語表現の獲得、コミュニケーション
方法の確立など)、発音や聞こえ、嚥下機能
の発達支援をおこないます



理学療法士 (PT)

あそびの中で、運動機能の向上、基本的な動
作(座る・立つ・起き上がるなど)の習得支援、
粗大運動の発達支援をおこないます



児童発達支援センターとは、地域の中核的な療育施設です。

発達支援

発達に遅れや課題を抱えている子どもたちの成長をサポートする支援をおこなっています。子どもが集団や社会の中で自立して生活していくため個別や集団活動で認知機能や運動能力、コミュニケーション能力などの発達を促しています

家族支援

子どもの家族が安心して子育てできるよう、面談や親子教室、関わり方などに関する相談や助言をおこなっています

地域支援

地域の児童施設、福祉事業所への助言、サポートをおこない、地域全体で子どもたちを支える体制作りにも関わっています

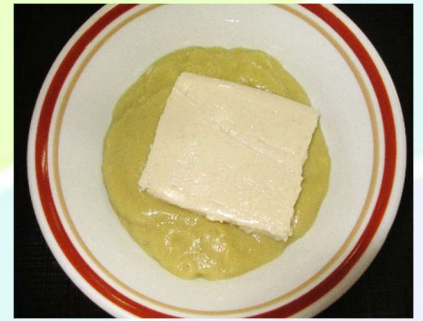
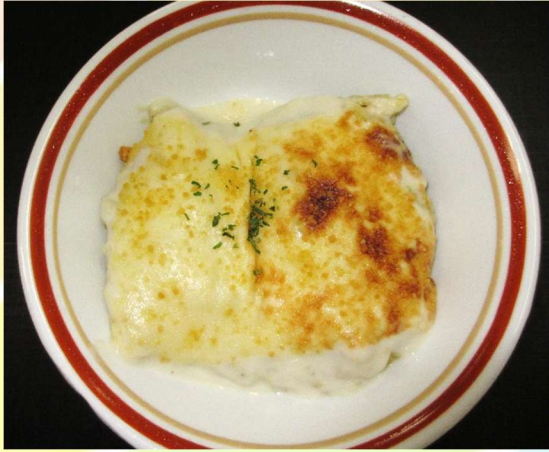


栄養課

夏と言えば・・・



夏と言えば、夏野菜カレーもありますが、今年は「カレードリア」も提供しました(8月12日昼食)



ミキサー食

ソフト食

普通食から全粥まで

具材はウィンナー、あさり、玉ねぎ・・・。
カレー味に炒めて、軟飯と杓打ソースと混ぜ合わせます。
その上に杓打ソースと粉チーズをのせてコンバクションで焼
き上げたら出来上がり★

「おいしかった!」と好評でした(^^)



【編集を終えて】

この夏、私の良い思い出となりそうなのは、八並公園で行われた「弥生が丘夏祭り」です。
当園からは「ヨーヨー釣り」を出店しました。水でふくらませて、ゴムで留めて・・・
職員と学生ボランティアさんで一つひとつ手作り。慣れるとコツがつかめて楽しくなるのですが、
何個も作っているうちに指先の力がなくなって、失敗作で笑いあう場面も。
暑い会場を元気に動き回り、そして真剣にヨーヨー釣りを楽しんでくれた沢山の子どもたちを
つついっちらも声を出して応援してしまいました。
そんな「にぎやかな笑い声」と「ぷかぷか浮かぶ色とりどりのヨーヨー」の風景が、
覚えておきたい夏のワンシーンとなりました。



もう一つ、8月の終わりの佐賀県立美術館「北斎・広重 大浮世絵展」。
評判どおりの多くの人出でしたが、こちらはし～んと静まり返った雰囲気。
浮世絵の中でも特に印象に残ったのが、「広重ブルー」と呼ばれる青の色合いです。
ただの青ではなく、空のさわやかさや、水のきらめきまでも感じられるような澄んだ色で、
眺めていると気持ちまで涼しくなるようでした。



私の対称的な二つの夏の思い出ですが、小さなことでも「思い出」と名付けてしまえば、
特別なことになるんだなあと、この文章を書きながら感じています。
猛暑ばかりが報道されたこの夏。皆さんにはどんな「思い出」ができましたか？(事務長 新貝 恵美)